

# InfoCom REVIEW

第 55 号

## 目次 CONTENTS

### 研究レポート

- 欧州の ICT 戦略「デジタル・アジェンダ」と  
欧州における超高速ブロードバンドの需要の議論について  
滝田 辰夫 2  
Tatsuo Takita

### 論文

- 周波数再編成（利用変更・移転）のエコノミクス  
—オークションの考え方を取り入れた移行コスト負担制度—  
Economics of Spectrum Reallocation — on the cost of yielding  
spectrum blocks in an “auction-like reallocation”  
鬼木 甫 13  
Hajime Oniki
- ネットワーク中立性をめぐる FCC の規則制定過程における  
イデオロギー的対立  
Ideological Conflict in the FCC's Rulemaking Process on Network  
Neutrality  
清原 聖子 32  
Shoko Kiyohara
- 情報プライバシー権に関する財産権理論の意義と限界  
—米国における議論の紹介と検討—  
Meanings and Limits of The Property Rights Theory about  
Information Privacy: Introductions and Studies of American  
Discussions  
村上 康二郎 45  
Yasujiro Murakami
- CD と音楽配信の需要の決定要因  
Demand Factors of CDs and Music Distribution  
浅井 澄子 62  
Sumiko Asai

### 出版物などのご案内

## 周波数再編成（利用変更・移転）のエコノミクス

—オークションの考え方を取り入れた移行コスト負担制度—

## Economics of Spectrum Reallocation — on the cost of yielding spectrum blocks in an “auction-like reallocation”

鬼木 甫<sup>\*</sup>

Hajime Oniki

初校受付 2011年8月8日  
査読を経て掲載決定 2011年9月1日

## SUMMARY

既に割当済み（免許発行済み）の周波数帯につき、その利用目的の変更、（既存利用者の）移行と新規利用者への割当において生ずる経済問題を分析するための基本フレームワーク（分析用具）を提示し、新規利用者数が1の場合の帰結、及び新規事業者が複数の場合のオークション割当の帰結を考察した。また2010年末総務省「タスクフォース」による「オークションの考え方を取り入れた移行費用負担制度」についてその可能性と含意を検討した上でこれを（マイナス）評価し、代替案を提示した。

キーワード：周波数帯の再編成、電波利用の効率化、利用目的の変更、移転、電波ブロックの需要と供給、需要価格、供給価格、最高需要価格、最低供給価格、補償、余剰、総務省2010年タスクフォース、オークション、比較審査

## 1 まえがき

この論文の目的は、周波数割当の再編成（利用変更と移転）について経済学的観点から分析を加え、また2010年末の総務省「タスクフォース報告」<sup>(1)</sup>で提示された「オークションの考え方を取り入れた（周波数）移行コスト負担制度」としてどのようなものがあり得るかを考えることである。

電波資源は20世紀初頭から利用されてきたが、当初は供給に十分余裕があり、政府当局は混信などの不便を避けるために周波数帯を割り当て、無

線局免許を発行するだけで済んでいた。1980年代から携帯電話の普及が始まると、空き周波数帯が減少して電波資源が希少化し、オークションによって電波が割り当てられるようになった。携帯電話は加入者を急速に増加させ、現在では生活・ビジネスの必需品になっているが、2010年代末から次世代携帯電話（3.9G/LTE, WiMAX, 4G）とコンピュータ機能をフルに備えた「スマートフォン」が導入されはじめている。4Gとスマートフォンを結合したWBS（Wireless Broadband Service：ワイヤレス広帯域サービス）は、近未来のGPT（General Purpose Technology：基本汎用